

2月8日	スギ雄花に含まれる放射性セシウムの濃度の調査結果について
2月18日	「平成24年度 林野庁事業評価技術検討会」の開催及び一般傍聴について
2月18日	「平成24年度 水源林造成事業評価技術検討会」の開催及び一般傍聴について
2月20日	「平成24年度 第4回 木材需給会議」の開催及び一般傍聴について
2月22日	国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ2013」の実施について
2月25日	全国山火事予防運動の実施について
2月25日	「林政審議会」及び「第3回 林政審議会 施策部会」の開催並びに一般傍聴について

無花粉スギ 「立山 森の輝き」の 記念植樹



2月21日、富山県が独自に開発した無花粉スギ「立山 森の輝き」の記念植樹が日比谷公園かめめの広場において開催されました。

はじめに、無花粉スギを開発した富山県森林研究所の斎藤主任研究員から特徴や開発の経緯などについて説明があり、続いて石井富山県知事、安藤東京都副知事、沼田林野庁長官により記念植樹が行われました。

この無花粉スギは、1992年に富山市に自生している花粉を全く生産しないスギを同研究所職員が偶然発見し、20年あまりの研究を経て、林業用の苗木として

開発されたものです。富山県では、2017年3月までに計8万本を出荷する予定で、今年度は5千本が出荷されました。

今後、このような取組が各都道府県でも進められ、花粉発生源対策が促進されることが期待されます。



「津波と戦ったクロマツのベンチ」を 林野庁にPR

2月14日、青森県と「三八地域県産材で家を作る会」が、製作した「津波と戦ったクロマツのベンチ」のPR活動に林野庁を訪れました。



このベンチは、東日本大震災で津波被害を軽減した海岸防災林の重要性や、被災状況等を記憶に留め、後世に伝えるために製作されました。ベンチの材料となったクロマツは、津波と戦い、生き残りま

したが、塩害により立ち枯れしてしまいました。そのクロマツを活用して、青森県の「三八地域県産材で家を作る会」がベンチを製作しました。

ベンチは、3月11日から15日まで農林水産省「消費者の部屋」に展示された後、当分の間、林野庁長官室に設置される予定です。



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。